

住環境デザイン学科の1年間

学びやイベントが盛りだくさんの住環境デザイン学科の一年間をまとめました。これ以外にもバラエティに富んだ課題や授業で学びを深めることができます。

1 研修旅行



入学直後に1泊2日の研修旅行を実施し、各地の住環境を実体験しています。例えば岡山県にある、江戸時代庶民のために開かれた旧閑谷学校を訪問。国宝の講堂などを見学し、先人の知恵と技術を体感しました。事前・事後学習で現地での気づきを深い理解に繋げます。

1 大教室での座学の様子



大学生らしい大講義室での講義がスタート。しっかり基礎を身につける大事なステップ。

1 造形演習



基礎的なデザイン能力を修得する演習。デッサン、環境と呼应するモバイルや光空間などを製作し、展示も。

3 環境工学演習



住環境を謳うこの学科では、早くから環境分野への理解を深める演習や講義が充実しています。

2 空間表現演習A・B インテリアデザイン演習



CADを用いたカフェの設計課題に挑戦!インテリアデザイン演習で模型を作成し、関西デザイン学生シンポジウムに出席、発表しました。

2 設計演習I 公開講評会



9月

3 デザイン方法演習



木工家具の制作を通して住生活に密着したプロダクトデザインに関する基礎を学び、椅子や収納などの家具を実際に製作。自分の力で産み出したカタチを画面として描き(製図)、実際に作り上げること(制作)に重点を置いています。

3 研究室配属

インテリアデザイン、建築設計、住宅管理、環境工学など、住環境にかかわる幅広い研究領域をカバーする研究室からもともと自分の興味に合わせて選択。さらに専門的な学びを深める。

1 基礎設計演習



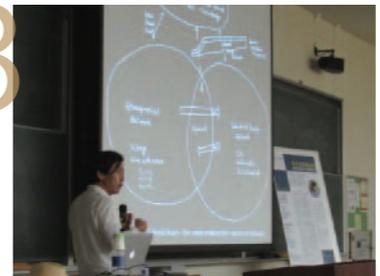
いよいよ製図室デビュー。製図板や平行定規、その他様々な製図用具の使い方を学び、線を引く練習をしていきます。

10月 オープンキャンパス



学生たちが嗜好を凝らした取り組みで未来の後輩たちを迎えます。

3 設計演習III 住環境デザインフォーラム +公開講評会



ゲストとして著名な建築家を招聘し、公開講評会と合わせて設計に対する考え方を講義(写真は第9回住環境デザインフォーラム:建築家 塚本由晴氏)していただきます。講評と講義を組み合わせることから、より高度な建築設計に対する取組みを学びます。

2 日本建築史 現地見学



大阪城・二条城・くらしの今昔館など、担当者の案内で実際の建築物を見て回り、構造や意匠について学びます。

2 設計演習II



住環境デザイン学科が実践的なのは、みずから作品づくりにトライするだけではありません。毎回コンテスト形式にした発表会には、課題に関係する学外の専門家や自治体の関係者などが審査員として参加。建築・インテリア・照明・自然・街づくりなどさまざまな観点から「プロの意見」を受けることができます。

3 スタジオ | 設計



実際の敷地と課題を対象とした設計演習では最終的に交野市でのプレゼンテーションをおこないました。

3 スタジオ | 環境



普段入ることのできない施設の設備・環境を設計者の案内のもとに見学し、理解を深めます。

3 スタジオ | 地域



寝屋川市内の住宅地を対象に調査を実施します。この日はフィールドワークを行い、町の成り立ちや住宅について理解を深めました。

4 卒業研究発表展



4年間の学びの結晶として、その研究成果を広く社会に公開することを目的に、4年生が1年間かけて制作した「卒業研究・制作」の展示会が毎年おこなわれます。会場の準備から運営まで学生が主体的に取り組めます。会期中には外部講師の先生による講評会も実施されます。

海外研究・研修



海外をフィールドに研究やプロジェクトに取り組むことも! 他では得られない大きな経験になります。